

# ビール審査会のご案内



日本地ビール協会

〒659-0068 芦屋市業平町8-14-002 TEL.0797-34-7751 FAX.0797-34-7752

Copyright(C) 2009 Japan Craft Beer Association

いま米国やカナダでは、伝統的なビアスタイルを尊重しながらも、自己のオリジナティを強く主張したビール造りを目指す、「ニュージェネレーション・ブルワリー」の活躍が目立ってきました。その数はすでに3,000か所を超え、それぞれが個性的なビールを競っております。

そうした動きは、これまで伝統的なビール造りにこだわってきた英国、ドイツ、イタリア、フランス、スカンジナビア諸国などに強い影響を与え始めました。その影響は、ブラジルやオーストラリアのマイクロブルワリーにも波及し、世界のビール文化に一大革命が起きようとしています。

日本の地ビールも、すでに物真似の時代を脱し、創意と工夫を凝らしながらユニークで高品質の製品をつくる時代を走っています。その方向は、欧米の「ニュージェネレーション・ブルワリー」が目指す方向と、まったく同じであろうと思います。

日本地ビール協会では、そのような世界の新しい動向を審査に反映させながら、今までも増してより質の高い審査会となるよう努力を続けています。

# ジャパン・アジア・ビアカップ & インターナショナル・ビアコンペティション

## 目的

- ・日本及びアジアのクラフト・ビールの普及と振興、ビールの品質向上。
- ・マスコミへのニュース提供により露出を高め、広く一般消費者にPRすることで、販売増加を図る。

## 審査対象

- ・日本及びアジアで販売されているすべてのビールと発泡酒及びビールテイスト炭酸飲料。
- ・ボトル・缶(入り)部門とケグ(樽入り)部門、それぞれを12カテゴリーに分け審査する。

## 主催

- ・日本地ビール協会 ・特定非営利活動法人(NPO法人) 日本ビアテイスター®協会

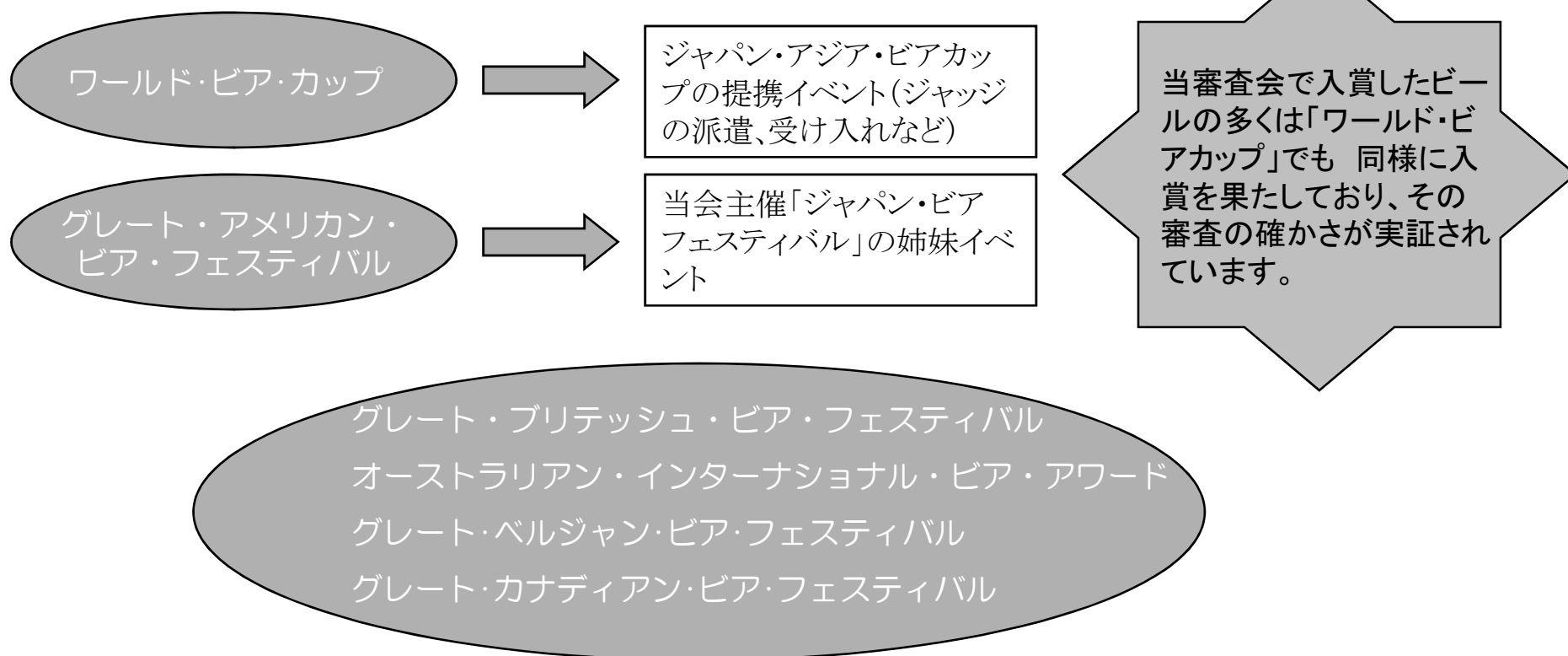
## 後援(予定を含む)

- ・アメリカ大使館農務部 ・ドイツ大使館 ・イギリス大使館 ・チェコ大使館
- ・ミュンヘン工科大学バイエルン州立ヴァイヘンシュテファン醸造研究所 ・米国ブルワーズ協会

## 審査基準

エントリーされたビールを国際標準化されている「スタイルガイドライン」に基づいて審査・表彰するコンペティションとする。

### 同様の方式を採用する世界のコンペティション



# 審査の手順と基準

- ・審査はブラインド方式で行い、審査員にはメーカー名・ブランド名を伏せ、ビールは番号でのみ識別する。
- ・カテゴリ毎の審査員は1テーブル5～7人とし、各自テイスティングした後、ディスカッションを行う。
- ・「スタイル・ガイドライン」に則り、そのスタイルの基準に準拠していないビールや、そのスタイルにとってオフフレーバーとなるフレーバーがあるビールを除外していく。
- ・上記をクリアしたビールを対象に、外観・味・バランスについて評価し、基準をもとに各カテゴリの賞を決定していく。金銀銅の各賞は1銘柄ずつとし、受賞該当ビールがない場合もあり得る。
- ・各テーブルの審査員のキャプテンは、決定された金銀銅賞のビールの番号を記入し、封筒に入れて密封する。
- ・この結果は、チーフ・ビアディレクター経由で審査委員長に手渡され、発表まで厳重に管理される。

## ゴールドメダルの基準

スタイル・ガイドラインの基準に完全に合致し、なおかつ外観、香り・味のバランスが世界1級のレベルに達しているビール

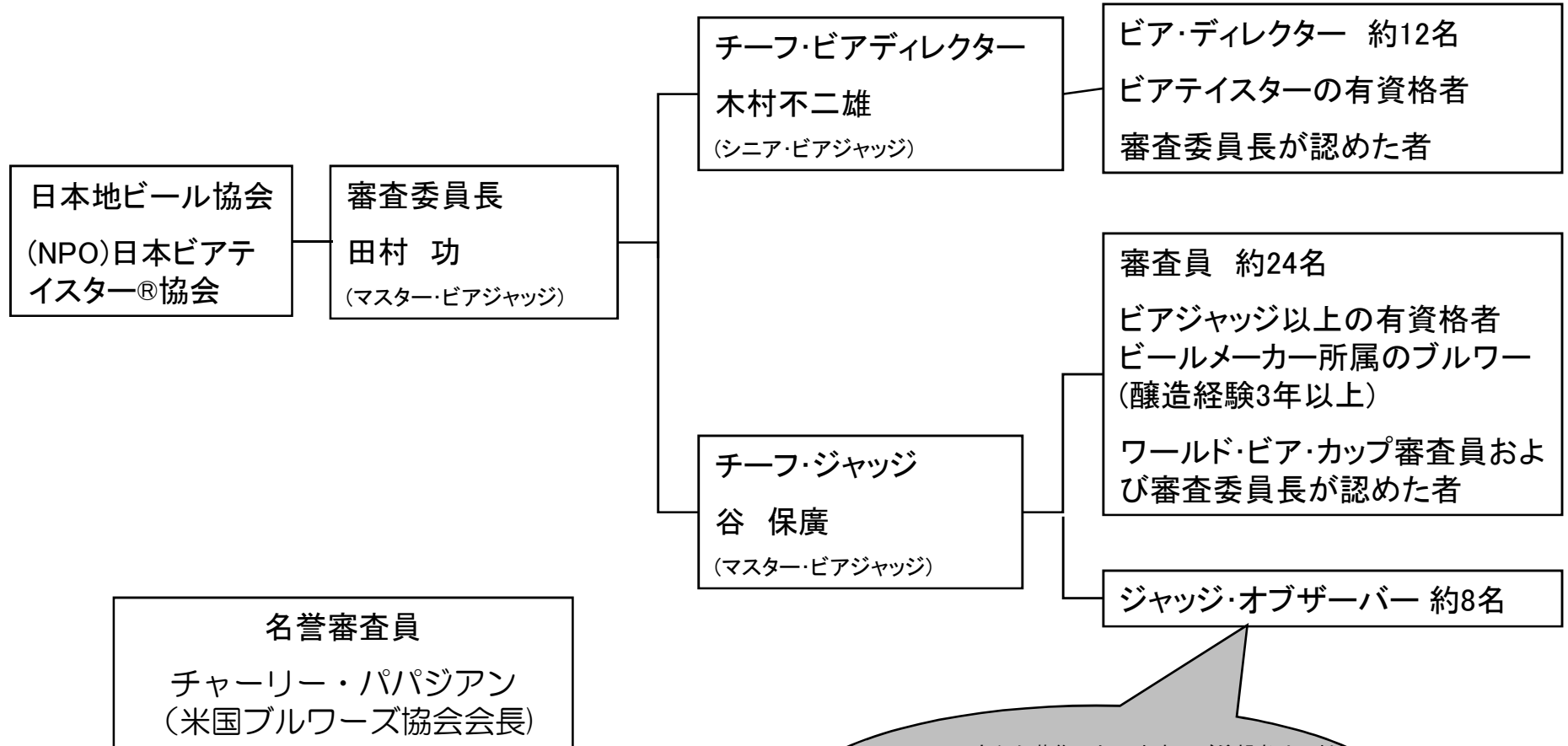
## シルバーメダルの基準

スタイル・ガイドラインの基準を高いレベルでクリアし、なおかつ外観、香り・味のバランスが卓越したビール

## ブロンズメダルの基準

スタイル・ガイドラインの基準をクリアし、外観、香り・味のバランスが優れているビール

# 審査会組織図



\* マスコミの方から募集いたします。ご希望者は同封のジャッジ・オブザーバー申込書にてお申込ください。  
\* ビールメーカー及び製造の関係者は、自社のビールが出品されているカテゴリの審査に関わることは出来ません。